

大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻
特任教員（非常勤職員（短時間教育研究等職員））公募要項

大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻では、世界の言語及びそれを基底とする文化と社会について理論及び実践の両面にわたる教育研究を行っています。多様な言語や文化と専門知識に通じ、世界の舞台上でリーダーシップを発揮できる人材育成に取り組む特任教員を次のとおり募集します。

1. 所属 大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻
2. 職名 特任助教 ※非常勤職員（短時間教育研究等職員）
3. 募集人員 1名
4. 職務内容 (1) 大阪大学「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」（概要は別紙参照）の実施にかかわるコーディネート業務（企画立案、各機関及び担当教員との協議連絡調整）
(2) プログラムの円滑な実施にかかわる教務上その他の業務
(3) その他スーパーグローバル大学事業を推進するための大阪大学の語学教育の改革にかかわる連絡調整業務
(4) プログラムの実施にかかわる英語教育の業務
5. 応募資格 ・採用時において博士若しくは修士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有する者又は同等の能力があると認められる者
・世界の言語と文化に関する優れた研究業績のある者
・大学における語学教育の経験を有する者
・英語の高い運用能力を持つ者
6. 雇用期間 平成29年10月1日から平成30年3月31日までとする（更新なし）。
7. 勤務時間 週1日（水曜日、ただし祝日、年末年始を除く。）、1日6時間勤務とする。
※国立大学法人大阪大学非常勤職員（短時間教育研究等職員）の労働時間、休日及び休暇等に関する規程による。
8. 給与 時間給 2,197円～（職務内容等を考慮して決定する。）
超過勤務を命じる場合には超過勤務手当を支給する。
※通勤手当、住居手当、賞与、退職手当の支給はない。
※国立大学法人大阪大学非常勤職員（短時間教育研究等職員）給与規程による。
9. 保険等 労働者災害補償保険に加入する（健康保険、厚生年金保険、雇用保険への加入はない）。
10. 応募書類 (1) 履歴書（所定様式）
(2) 研究業績目録（所定様式）
(3) 主要業績（3点以内）の別刷各1部ずつ（コピーも可）
(4) 職務経歴書（様式自由、A4サイズで1～2枚程度）
※応募書類のうち、(1)及び(2)は所定様式を使用し、必要な事項をもれなく明確に記入すること。また、(1)については、直接連絡をとることができる、住所、電話／FAX番号、電子メールアドレスを明記すること。
※上記(1)及び(2)の所定様式は、当研究科言語社会専攻／日本語・日本文化専攻ホームページからダウンロードできる。
http://www1.lang.osaka-u.ac.jp/ls/about_ls/employment.html
11. 応募締切 平成29年8月17日（木）必着
12. 選考方法 応募書類により審査・選考の後、必要に応じ面接を行う（面接に伴う旅費等の経費は応募者負担）。
13. 書類送付先 〒562-8558 箕面市栗生間谷東8-1-1
大阪大学言語文化研究科・外国語学部箕面事務室専門職員（庶務系）荒木
TEL：072-730-5103
14. 照会先 大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻
教授 岡田 新 E-mail: shinokada@lang.
※E-mailアドレスの末尾には osaka-u.ac.jp を付けること。
15. その他 封筒に「特任教員（マルチリンガル）応募書類在中」と朱書きの上、国内からの応募の場合、簡易書留等の追跡可能な手段で送付すること。応募書類は原則として返却しない。
※なお、上記以外については、国立大学法人大阪大学非常勤職員（短時間教育研究等職員）就業規則等による。
http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html

大阪大学は男女協働を推進しております。性別や国籍・人種・民族等の別にかかわらず、意欲ある方の応募を歓迎します。

「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」(MLE) の概要

「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」(MLE) は、現代のグローバル社会で活躍する有為な人材を育成するという理念のもと、大阪大学の文系部局が連携して取り組んでいる部局横断的な教育プログラムです。MLE は、多言語に精通するとともに、専門的な学問の素養を備えた人材を養成することを目的としています。

現在、マルチリンガル・エキスパート養成プログラム運営協議会のもとで以下の3つのカテゴリーのプログラムが実施されています。

(1)外国語学部の各専攻語の学生が、文系学部（文学部、人間科学部、法学部、経済学部）の専門教育レベルの授業を体系的に学修するプログラム

(2)文系学部（文学部、人間科学部、法学部、経済学部）の学生が、外国語学部が開設する専門教育レベルの語学等の授業を体系的に学修するプログラム

(3)全学の学部生、大学院生および教職員向けに、個人指導やセミナー形式で、ネイティブ講師が英語でのプレゼンテーションスキルを教える「アカデミック・イングリッシュ・サポートデスク」プログラム

(1)については2015年度から4つのプログラムが、学部副専攻的なプログラムとして始動し、選抜された32名の学生たちが履修を開始しました。2016年度には、1プログラムが増え合計5つのプログラムに31名が参加、2017年度にはさらに36名が選抜されて参加し、合わせて99名が現在プログラムを履修しています。また2017年度からは、(1)のプログラムに加え、(2)のカテゴリーの最初のプログラムとして外国語学部が「英語・英米文化学」プログラムを開設し、選抜された文系4学部の2、3年生19名が履修を開始しています。これに加えて平成30年4月から「スペイン語・スペイン文化」を対象にしたプログラムと大学院レベルの副専攻プログラムを開設する予定で、運営協議会で鋭意準備を進めています。

(3)については、海外の学会で英語で研究発表することを予定している学生や教職員を対象として2015年度に豊中、吹田、箕面の各キャンパスで試行を実施し、2016年度からは1年を通じた本格的な運用を始めました。全体の稼働率は80%を超え、受講者から好評を博しています。さらに2016年度には、「アカデミック・イングリッシュ・サポートデスク」の事業を大学全体に周知することをめざし、研究科（学部）別に対象をしばった3つのオープンセミナーを試行的に運用しました。2017年度は個人指導に加えて、オープンセミナーをより多くの研究科（学部）に対象を広げて開催していく計画です。

大阪大学は、2007年10月の大阪外国語大学との統合を経て、国立総合大学の中で、外国語学部を擁するただ一つの大学となりました。MLEは、こうした大阪大学の特徴を最大限に活かし、高い外国語の運用能力を身につけるとともに、様々なディシプリン専門的知識を備えた、真の意味でのグローバル人材の養成をめざして、プログラムを推進しています。